

まずは知ろう！白馬村の図書館の過去と現在

白馬村では、新しい図書館等複合施設の建設に向けた検討を進めています。今年度は、有識者会議とワークショップを並行して開催しながら、基本構想を策定します。来月号から検討の経過をお伝えしていきますが、その前にまずは白馬村の図書館のこれまでと今を振り返ってみましょう。

■白馬村図書館の歴史

まずは歴史を紐解いてみよう！というところで、先日開催された「ウィキペディアタウンin白馬村」にて参加者が白馬村図書館の変遷をまとめて投稿してくれましたので、以下にご紹介します。

白馬村図書館は、1909年(明治42年)1月12日に創立。はじめに北城小学校(現白馬北小学校)内に図書館が置かれ、青年だけでなく村民に一般開放された。1917年(大正6年)には、図書購入費が81円、蔵書886冊であった。当時図書館の整理や運営は学校職員が行っていた。1956年(昭和31年)白馬村公民館が発足後、旧白馬村役場神城支所内の図書室に全て寄贈された。後に公民館が役場内に移動し、国道沿いの旧役場庁舎、現役場の2階、

隣接の多目的施設、さらに新築されたふれあいセンターと数か所移り変わった。そして1998年(平成10年)10月に長野地方務局大町支局白馬出張所の建物を後継利用する形で開設し現在に至っている。



2階に図書館が入っていた
旧白馬村役場庁舎

*これまでの図書館は、独立した施設ではなく、空き施設を有効に利用してきました。今の施設に移転したのが長野五輪の年、ちょうど20年前ということになります。

■現在の白馬村図書館

次に今の図書館について、どんな状況なのか確認してみましょう。

施設：昭和62年建築(築30年)
図書館占有面積398㎡

蔵書数：約5万3千冊

開館時間：午前9時～午後6時

休館日：毎週月曜日、祝日、年末年始、館内整理休館日(毎月最終金曜日)

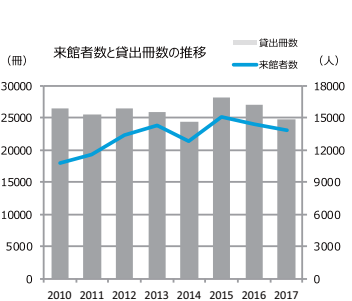
サービス体制

貸出：1人10点まで(3週間)

インターネット接続端末：1台

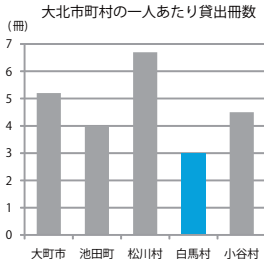
職員：3名(1日2名勤務)

ボランティア：6名(蔵書点検等)



現在の白馬村図書館

○利用者の要望に応じた施策
図書館システム導入(H21)
12時～13時の閉館廃止(H23)
玄関ドアの自動化(H23)
DVDプレーヤー設置(H24)
インターネット接続端末設置(H24)
大北地域図書館の相互利用(H29)



*農業や観光で忙しい人が多いのか、アウトドア派が多いからか、一人あたりの貸出冊数は大北地域で毎年最も少ない状況です。

新しい図書館建設に向けたこれまでの検討の経過

白馬村総合戦略 (H27.12)

～図書館建設による情報発信と広域連携～
情報発信機能を充実させた魅力ある図書館を建設し、広域的な情報(文化・芸術)を発信するなど訪れる人を引き付ける魅力的な空間を提供します。
*図書館来館者数(重要業績評価指標-KPI)
H26:12,809人→H31:16,000人

現在の図書館の課題の洗い出し

白馬村図書館協議会

図書館基本計画策定に向けた協議の中で、現在の白馬村図書館の主な課題として、以下の内容を挙げました。
・施設の老朽化、収納スペースの限界
・高齢者や体の不自由な方でも利用しやすいサービス、施設の整備
・専任の館長、正規職員の配置なども含め、常時2名以上の勤務を確保するなど人員体制の強化
・ボランティアの館内業務補助の再開及び業務用端末の充実
・蔵書の充実、雑誌の購入、新聞の点数の拡大
・オンラインデータベースの導入、業務用端末の充実
・村誌のデータ版の作成、書誌データの補強入力作業
・講演会・読書会等のイベントの実施
・子ども読書活動の推進(計画含む)

白馬村第5次総合計画 (H28.4)

住民の暮らしと文化振興の活力となるよう、公共図書館の運営を充実させるとともに、人づくりに役立つ図書館を目指します。また、図書館としての機能・役割を充足できる施設とはいえない現在の図書館について、収納スペースの見直しを行うとともに、施設の増改築や新図書館の建設について調査・検討を行います。

新しい図書館の施設整備の方針

白馬村図書館施設検討委員会 (H29.7～)

これからの図書館のあり方や施設整備について調査・検討するために、学識経験者や保護者代表、学校関係者等を委員として、これまで6回の会議を開催しました。また、白馬中学校、白馬高校、シニアクラブ、役場職員、一般村民を対象としたワークショップをそれぞれに開催し、広く意見を集約しました。
*新図書館の基本的な方針
①全ての村民・観光客に開放された図書館
②景観が良く、気軽に立ち寄れる場所に建っている
③明るい雰囲気、入りやすい
④自由に利用でき、使いやすい
⑤サービスがしやすくなっている
⑥将来の変化に対応できる
⑦環境に配慮した施設づくり
⑧地域の特色を活かした機能的で魅力的な図書館

白馬村図書館基本計画 (H28.4)

図書館協議会の答申を受け、白馬村教育委員会が策定。
*運営理念
村民のくらしを支援し、まちづくりに役立つ図書館をめざします。
*運営方針
①子ども達の成長に役立つ図書館
②人づくりに役立つ図書館
③暮らしに役立つ図書館
④地域おこし、まちづくりに役立つ図書館
⑤文化振興に役立つ図書館

複合施設としての基本構想策定

これまでの経過を踏まえて、今年度は有識者会議とワークショップを並行して開催しながら、複合施設として併せ持つべき機能を検討するとともに、図書館を含めた施設全体の基本構想を策定していきます。次号では、有識者会議についてお伝えする予定です。ご意見・ご要望がございましたら、総務課政策企画係までお気軽にお寄せください。

お問合せ：白馬村役場 総務課 政策企画係 (72-7002)

*各計画・会議資料等は白馬村行政ホームページをご覧ください。(総務課窓口でお渡しすることも可能です)

